

(仮称) 地区交流センターの概要(案)に係る意見募集等の結果(報告)

「(仮称) 地区交流センター」について、昨年9～10月に開催したワークショップでのご意見等を踏まえ、「(仮称) 地区交流センターの概要(案)」(以下「概要案」という。)を作成し、本年4月12日から5月31日までの期間において、ご意見を募集しました。

この度、ご意見の概要がまとまりましたので、お知らせします。また、それと併せて、令和8年4月に開催した「小平第十一小学校等複合施設の基本設計等に係る市民説明会」における(仮称) 地区交流センターについてのご意見の概要につきましても、お知らせします。

1 概要案への意見について

(1) 意見募集(申込みフォーム、意見箱等)

- ① 募集期間 令和8年4月12日(日)～5月31日(日)
- ② 意見件数 延べ22名、42件(件数は、内容により意見を分類してカウントした数)
- ③ 募集方法 申し込みフォーム(LoGo フォーム)、意見箱(設置場所: 市民協働・男女参画推進課窓口、市政資料コーナー、中央公民館、花小金井北公民館、花小金井北地域センター)

(2) 小平第十一小学校等複合施設の基本設計等に係る市民説明会

- ① 説明会日程
 - ・日 時: 令和8年4月12日(日) 午前10時から正午まで
場 所: 小平第十一小学校 図書室
参加者: 21名
 - ・日 時: 令和8年4月16日(木) 午前10時から正午まで
場 所: 花小金井北公民館 3階ホール
参加者: 16名
- ② 寄せられた意見の件数

質疑応答(32件)のうち、(仮称) 地区交流センター関係10件
意見・要望(17件)のうち、(仮称) 地区交流センター関係8件
(仮称) 地区交流センター関係の合計 18件

2 意見の概要

(1) 意見募集で寄せられたご意見の概要

① 施設の利用や運営のルールに関する事項

- ・ こどもと高齢者の交流を大切にする施設にしてほしい。
- ・ 施設内に飲食のできる場所があるとよい。
- ・ こどもや現役世代も利用しやすい施設となるよう、一部の人が占有するようなことなく、多世代が共存できるルール作りをしてほしい。
- ・ 使用する機会が多くなることが想定される放課後や土日については、児童が施設を優先して使えるようにしてほしい。
- ・ こどもだけでなく高齢者にも優しい施設になってほしい。
- ・ こどもたちに義務教育で学べないことを（仮称）地区交流センターで学んでほしい。
- ・ 乳幼児も楽しく遊べる施設にしてほしい。近隣施設の休館日を考慮して休館日を設定してほしい（休館日をずらし、子連れでどこかには行けると良い）。

② 施設に設置する備品や建物、建設費用に関する事項

- ・ 地域センターで毎日のように卓球をしていたので、引き続き（仮称）地区交流センターでも卓球はできるようにしてほしい。
- ・ サークル活動で使えるよう、プロジェクターを設置してほしい。
- ・ 友達に折り紙の折り方を教えられると楽しいので、施設内に折り紙を置いてほしい。
- ・ 建物はデザイン性ではなく、機能性を重視してほしい。
- ・ 多額の費用をかけ、新たな施設を整備するべきでない。
- ・ 複合化施設の建設には多額の費用を要することなどから、小学校と（仮称）地区交流センターは別々に整備したほうがよい。

③ セキュリティや防犯、学校と地域の連携に関する事項

- ・ 学校と地域が関わることになるため、安全性の確保が必要である。
- ・ 学校敷地内に不特定多数が出入りすることになるため、動線の検討、物理的な仕切りや防犯カメラの設置、警備員による巡回など、ハード・ソフト両面のセキュリティが必要である。
- ・ 昨今のこどもを取り巻く環境を考えると、防犯面が心配である。
- ・ 地域と学校が連携することで交流できる内容を知りたい。

④ 既存の施設や機能の存続などに関する事項

- ・（家から近いなどの理由で）既存の地域センターを残してほしい。
- ・ 施設は公民館条例の中に引き続き位置づけ、また、公民館講座は市直営で運営することが望ましい。
- ・ 公共施設の床面積削減により、部屋の予約がとりにくくなることを懸念する。

⑤ その他、今後の整備を進めるにあたってのご意見等

- ・（仮称）地区交流センター開設後の職員の役割は大きいので、市直営が望ましい。
- ・ 「地区交流センターの設置により実現したい未来」の記載事項は、今すぐ実現すべき課題がほとんどではないか。
- ・ 今後、関係者間で十分な協議を行い、設計に活かしてほしい。

（２） 小平第十一小学校等複合施設の基本設計等に係る市民説明会において、

「（仮称）地区交流センター」についてのご意見の概要

① 質疑応答の概要

- ・（仮称）地区交流センター諸室の仕様や広さは。
→面積は今後変更する可能性はあるが、現段階の想定としては、多目的室は 70 m²から 79 m²、ホールは 106 m²、和室は 43 m²、団体活動室は 18 m²、地域交流室は 147 m²、廊下・ギャラリー・ロビー・玄関を合計して 149 m²（内ロビー・ギャラリーは 53 m²）。多目的室は可動間仕切りで仕切って利用でき、一部には調理スペースを設け、別途和室も整備する。
- ・（仮称）地区交流センターの職員と青少対（青少年対策地区委員会）、地域教育コーディネーターの、役割や位置づけは。
→地域に根差した活動を行っている青少対や、学校と地域をつなげる役割を担っている地域教育コーディネーターと協力連携しながら、共に地域コミュニティを醸成していきたい。建物完成を待たずともできることがあれば検討していきたい。
- ・（仮称）地区交流センターの Wi-Fi について
→一般利用でも利用できる Wi-Fi の整備を想定している。
- ・ 複合化することで、児童が知らない人と知り合ったり、一方的に知られる機会が増えることになる。施設内での安全は確保できたとしても、施設外での防犯対策はどのように考えているか。
→地域でコミュニティを形成していくことで、地域の目が犯罪者に対して抑止力になるのではないか。頂いた意見を踏まえ今後検討する。

② 意見・要望の概要

- ・ 複合化に伴い、親子3代でも利用できるため、地域コミュニティの醸成にとって良い取り組みだと思う。
- ・ 公民館は、こどもが保護者と一緒に使う場所で、地域センターは、こどもが自由に本を読んだり卓球をしている。(仮称) 地区交流センターはこどもと大人が自由に交流する場所となるのが良い。
- ・ 地域と学校の継続的な交流として、学級農園の一角にコミュニティガーデンをつくり、一緒に育てていくような取組があると良いのでは。
- ・ 学校施設の地域開放について、安全面を考慮して、図書館や図工室など児童が日常利用するエリアは地域開放を行わず、地域交流室だけを地域開放としてほしい。